

「会員のための大学ガイドブック」発行にあたって



法政大学後援会会長
和佐原 征一郎

新入生の保護者及びご家族の皆様におかれましては、お子様が厳しい入試を乗り越え、法政大学にご入学されましたこと、心よりお慶び申し上げます。

法政大学後援会は、本学にご息子ご息女が在籍される父母・保証人の皆様により構成され、その活動は、首都圏及び北海道から沖縄までの全国33支部を通じて組織されており、その会員数は27,000を数えます。本会は1974年に保護者自らが立ち上げ、物心両面から学生と大学を支援し、戦後の教育環境整備を進めてきた、他大学では類を見ない組織です。大学が行う教育事業を支援し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的に活動を展開しています。

2023年度版としてこの度発行いたしました「会員のための大学ガイドブック」は、法政大学の様々な情報を盛り込んだ冊子として大学と連携し発行いたしました。大学と後援会の歴史や概要、学生生活に有益な情報がコンパクトにまとめられています。また、法政大学後援会のホームページにも本冊子の内容を掲載しておりますのでご活用いただき、ご息子ご息女の学生生活とその環境についてご理解を深めていただけましたら幸いです。さらに、後援会の様々な活動につきましても、後援会ホームページにおいて随時情報を発信しておりますので、併せてご覧いただきたいと存じます。

さて、法政大学後援会の活動においては、2020年からのコロナ禍により様々な活動が制約を受けておりましたが、新年度からはwithコロナ、afterコロナにおける活動を大学と連携を図りながら、本格的な再開に向けて取り組んでまいりたいと存じます。一方で、コロナ禍を経たからこそ、新たな活動スタイルへの検討も必要となりました。後援会活動に対する会員皆様のご意見、ご要望もしっかりと受け止めて、より良い後援会活動を実現できるよう取り組んでまいりたいと思っております。

この度入学されました学生の皆さんが法政大学での勉学に励まれる中で一つでも多くの知識と教養を身に付け、実りある将来につなげることを祈念するとともに、法政大学後援会の活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

法政大学後援会事務局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4F
TEL : 03-3264-9350・4120 FAX : 03-3264-9367 E-mail : koenkai@hosei.ac.jp

【後援会ウェブサイト】
<https://www.hosei-koenkai.org/>



後援会への感謝と期待



法政大学総長
廣瀬 克哉

社会生活も、大学の諸活動もポストコロナという段階に入りつつあります。久しぶりに日本武道館にご家族にも列席いただける状態で入学式を行い、授業も対面を基本として行われています。最初の緊急事態宣言が出された2020年春に入学した学年が今年度は4年生に進級し、高校生活3年間をコロナ禍のなかで過ごした学年が今年の新入生です。すべての学年の学生たちが、それぞれの新しいステージに向かって思う存分学生生活を送って欲しいと願っています。

他方で、コロナ禍や国際的な危機によって浮き彫りにされたさまざまな社会や経済の問題点が解決して今を迎えているわけではありません。課題は残しつつも、行動は徐々に制約から自由になっていくという状況の下にあります。みんなに同じ制約が一斉にかかってくる事態よりも、さらにきめ細かな配慮とサポートが必要な場面を迎えていると受け止めています。ご家族との連携を丁寧にとりながら今後の状況の変化に対応を進めていく必要を強く感じております。このような状況下での学生生活を少しでも充実したものとできるよう、ご支援とご協力を引き続きよろしくお願い致します。

CONTENTS

法政大学後援会について	2
事業	3
2022年度収支予算	6
法政大学後援会組織図／法政大学後援会の運営諸機関	8
法政大学後援会寄贈	9
法政大学後援会会則	10
法政大学後援会個人情報保護ガイドライン	11
法政大学後援会の歴史	12

●学びと学生生活	15
授業の種類／シラバス／履修登録	16
試験と成績(成績評価・GPA)／単位／進級／卒業要件	17
法政大学の学習環境／学習支援	18
法政大学ピアネット／大学で行われる行事	19
クラブ・サークル活動	20
学費と休学・退学について／各種の届・願の提出先	22
奨学金制度	23
診療所／健康診断	29
学生相談室・障がい学生支援室・ハラスメント相談室	30
法政大学学生教育研究災害傷害保険(略称：学研災)について	32
トラブルに巻き込まれないために	33
防災面での危機管理について	34

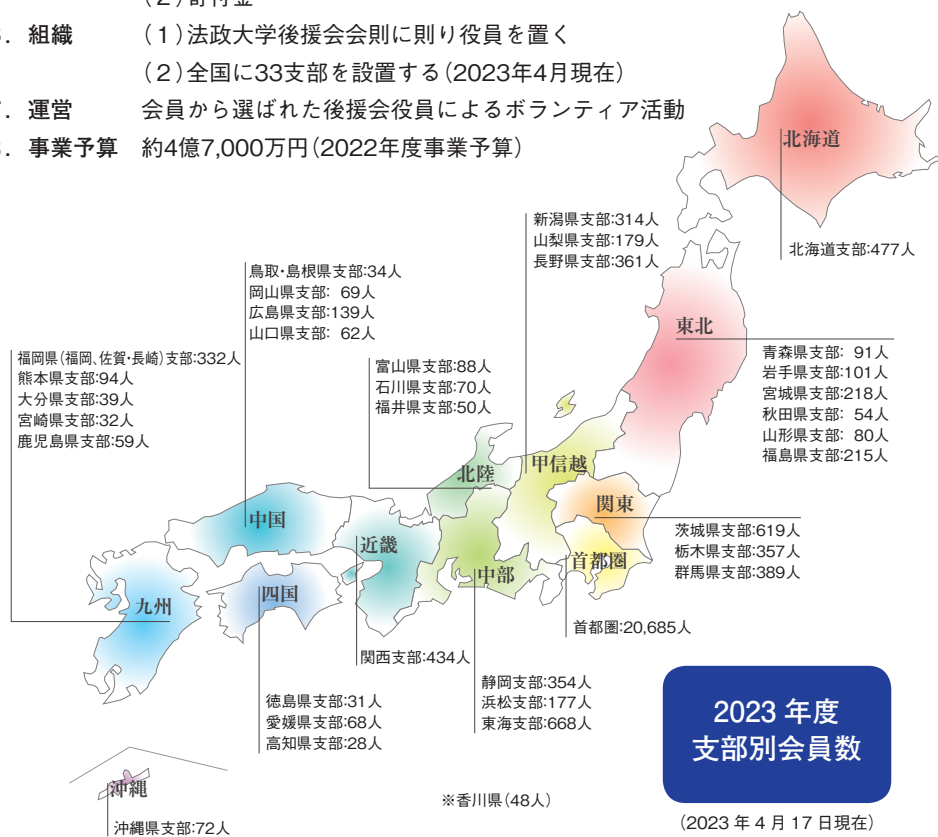
●就職	35
就職	36
理系の就職活動	38
教職・資格	39
講座	40
公務員	42
学部別の主な就職先	43
就職に関するQ & A	44

●大学情報	45
法政大学の歴史・草創期の功労者	46
著名出身者	48
校旗・校章	49
校歌・応援歌・学生歌・法政大学行進曲	50
市ヶ谷キャンパスMap	52
多摩キャンパスMap	56
小金井キャンパスMap	60
オレンジネットワーク事業	64
国際教育交流	66
海外交流大学	68
一般社団法人法政大学校友会(卒業生組織)	69
学校法人法政大学データ一覧	70
大学院	77
図書館	78
2023年度年間スケジュール	79
法政オリジナルグッズ	80
法政スポーツコミュニティー【HSC】/後援会ウェブサイトのご案内	81
問い合わせ電話番号と関連記事	裏表紙

「子どもの母校は、我が母校」

～学生の学問と学校生活に対する満足度向上のために～

1. 会員 法政大学に在籍する学部学生すべての父母・保証人 全国約27,000人
2. 目的 大学の教育方針に則り、大学と学生、家庭との連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的とする。
3. 発足 1947年
4. 主な事業 (1) 学生と大学への助成
(2) 広報関係への助成
(3) 支部総会・父母懇談会・首都圏父母懇談会の開催
(4) 後援会奨学金の策定と運用
5. 経費 (1) 会費(毎年度授業料納入時に大学が代理徴収)および入会金(新会員のみ)
(2) 寄付金
6. 組織 (1) 法政大学後援会会則に則り役員を置く
(2) 全国に33支部を設置する(2023年4月現在)
7. 運営 会員から選ばれた後援会役員によるボランティア活動
8. 事業予算 約4億7,000万円(2022年度事業予算)



**2023年度
支部別会員数**
(2023年4月17日現在)

1. 学生と大学への助成

課外活動・学生行事・各種講座、スーパーグローバル大学に対する支援、奨学・奨励金などの学生支援を行うとともに、図書・備品等の大学への助成・寄贈を行います。



備品の寄贈・図書購入の補助・各種講座の助成等、学生と大学への支援は多岐に渡ります

2. 会員向け企画の充実

父母懇談会は保護者が教育環境や学生生活を知る機会として首都圏と各支部で、新入生父母の集いは新入生保護者の不安解消を目的として支部の任意性の下で、それぞれ行なわれております。

今後も大学と連携協力することにより、一層の充実を図ります。また、首都圏及び全国の支部では、校友会との交流も積極的に行います。



首都圏父母懇談会

3. 広報活動の推進

広報誌「法政」の制作費等の補助を行い、「後援会だより」のページを充実させていきます。また、「会員のための大学ガイドブック」を作成するとともに、後援会ウェブサイトを充実させ、各活動報告やスポーツ応援などの情報発信を行います。



4. 自然災害等被災(含むコロナ困窮)学生への支援

自然災害等に被災(含むコロナ困窮)した学生への就学特別支援を実施します。



支援学生からは感謝の言葉が寄せられています

■ 後援会の主な事業

2023年度(2023年4月～2024年3月)の主な事業計画は以下のとおりです

事業項目	主な事業	主な活動内容
1.父母懇談会 (※1)	支部	・「支部総会」を35支部、「父母懇談会」を20支部、8ブロックで開催(7/1～8/27)
	首都圏	・「東京・神奈川・千葉・埼玉」の父母を対象に3キャンパスで開催 市ヶ谷キャンパス(10/1) 小金井キャンパス(10/8) 多摩キャンパス(10/14)
2.後援会活動の活性化と適正化	・各種会議へ参加(※1) ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議	・幹事会、常任幹事会、父母懇談会、支部長会議、運営会議などの各種会議を活用し、活動のあり方について意見交換を行うとともに、後援会活動の活性化と適正化に向けた検討を行う。
3.支部における諸活動 (任意) (※1)	・新入生父母の集い ・キャンパス見学や会員相互の親睦を図るための企画及び実施 ・支部による学生課外活動の支援	・新入生父母の集いの開催については、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、各支部に開催方法を一任する。 ・学生生活を中心とした情報を提供するとともに、新入生父母の疑問や質問に答え、不安解消に努める。 ・支部の活動情報を後援会ホームページで情報発信する。 ・支部会員によるキャンパス見学会などの実施。
4.学生・大学への助成	・新型コロナウイルス感染症、自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・広報活動などへの補助 ・その他、学生・大学活動への助成	・新型コロナウイルス感染症、自然災害などの影響によって困窮した学生への学習特別支援。 ・「法政大学後援会特別支援費」の積立。 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動/インターンシップ手帳作成、その他の助成。 ・海外留学奨学金の助成。 ・体育会助成やピアサポートなどの課外活動支援。 ・後援会奨学基金経費負担助成の継続。 ・各キャンパス自主法政祭補助など学生行事支援。 ・広報誌「法政」の作成費用補助。
5.広報活動	・広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ホームページの活用 ・スポーツや文化活動の情報発信 ・「会員のための大学ガイドブック」の作成	・後援会ホームページを活用し、会員向け情報や後援会の活動状況を配信。 併せて、体育会スポーツ応援情報も掲載。 ・広報誌「法政」の誌面を利用し、後援会活動や体育会スポーツ応援情報を紹介。 ・「会員のための大学ガイドブック」の改訂。
6.大学関係者との連携強化 (※1)	・大学との各種懇談会の実施 ・校友会との相互連携	・後援会と「総長・学内理事」、「副学長・学部長・学生センター長」、「常任参与」との各種懇談会の実施。 ・校友会との懇談会を実施するほか、校友会主催の諸行事や会議などへ参加。
7.HSC(HOSEI SPORTS COMMUNITY)・学生支援 (※2)	・学生スポーツ応援と文化系学生の課外活動のサポート	・大学や校友会、後援会クラブとのスポーツ支援に関する連携。 ・HSC(HOSEI SPORTS COMMUNITY)への財政・活動支援。 ・東京六大学野球、ラグビー、アメフト、駅伝などの競技応援。 ・文化系活動の発表会などに関する情報発信について検討。
8.学生との協働	・学生による各種活動と後援会の連携検討	・学生による各種活動と後援会の連携を図り、学生及び保護者に対して後援会活動の更なる理解促進を図ることを検討。
9.その他 (※1)	・対外組織との連携	・関西大学教育後援会などとの交流及び連携。 ・「東京私立大学父母・保護者の会」事務局連絡会への参加。

※1 2023年度は、新型コロナウイルス感染症等の拡大状況により、活動内容や開催方法を都度判断する。

※2 各種団体の応援ガイドラインなどに基づきサポートを行う。

■ 2023年度後援会の主な年間行事

月	日	曜日	行事	内容
4月	3日	月	入学式	大学行事、後援会会長が後援会の活動について説明
5月	13日	土	幹事会	後援会の役員会。決算報告、予算案等を審議
6月	3日	土	支部長会議	後援会事業と支部総会・父母懇談会について打ち合せ
			総会(WEB表決)	事業報告・決算報告、事業計画・予算案、2023年度役員を審議決定
7月	20日	木	校友会との懇談会	大学発展のために、校友会と後援会が年1回行う懇談会
7月～8月		土・日	支部総会・父母懇談会	全国の支部および地域ブロックで開催。総長、常務理事、学部長、就職関係職員が講演や説明を行う
10月	1日	日	首都圏父母懇談会 (市ヶ谷キャンパス)	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の会員を対象に各キャンパスごとに開催。 講演、キャンパスツアー、学部別懇談会等が行われる。 (多摩キャンパスは多摩祭と同日開催。)
	8日	日	首都圏父母懇談会 (小金井キャンパス)	
	14日	土	首都圏父母懇談会 (多摩キャンパス)	
11月	11日	土	支部長会議	支部総会・父母懇談会の報告、活動の情報交換
	22日	水	大学最新状況報告会	学生センター長による、大学の最新情報報告
1月	20日	土	総長・学内理事との懇談会	総長・学内理事と後援会運営委員が会談
3月	20日	土	オール法政賀詞交歓会	総長をはじめとする法政関係者が集う新年会
	2日	土	幹事会	後援会の役員会。暫定予算などを審議
	24日	金	後援会賞/外国人留学生表彰	難関試験を突破した学生などを表彰/国際交流に尽くした外国人留学生を表彰
			学位授与式	大学行事、日本武道館にて開催



支部長会議



父母懇談会(ブロック開催)

経常費

【収入の部】

(単位：万円)

科目(款)	2022年度予算額
1.一般収入	22,688
2.雑収入	79
3.積立金・引当資産からの繰入	4,600
4.預り金収入	0
5.期末未収入金	0
当年度収入合計(A)	27,367
前年度繰越金	20,115
収入合計(B)	47,482

【支出の部】

科目(款)	2022年度予算額
1.自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費	4,000
2.学生支援費	10,790
3.会員情報費	3,005
4.会員行事費	5,222
5.役員活動費	1,400
6.企画運営費	1,737
7.人件費	1,190
8.学生支援積立金	5,100
9.後援会積立金	0
10.引当資産	100
11.未払金支払	0
12.前払金	0
13.予備費	500
14.期末未払金	0
15.前期末前払金支払	0
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	33,044
当年度収支差額(A)-(C)	△ 5,677
次年度繰越金(B)-(C)	14,438
支出合計(D)	47,482



六大学野球応援



六大学野球応援



甲子園ポウル(アメフト)



箱根駅伝

■大学および学生への支援費・会員への情報費(2022年度予算)

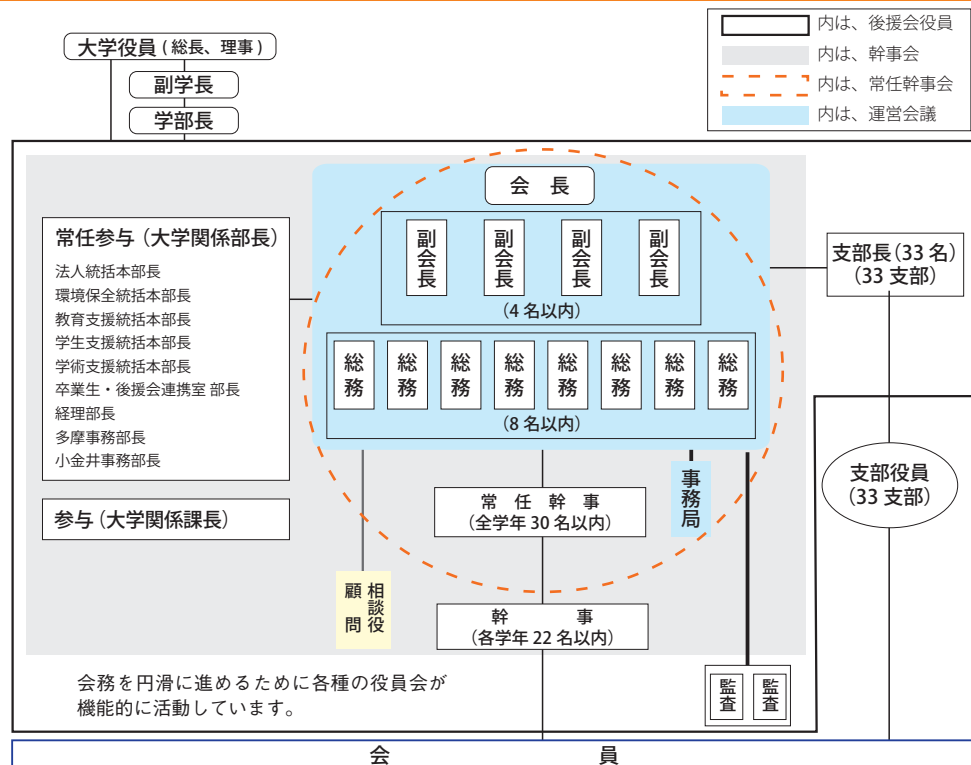
(単位：万円)

1) 自然災害等被災(含むコロナ困窮)学生のための学生支援費 4,000万円	4,000	自然災害等(含むコロナ困窮)の被災学生を支援
自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費 4,000万円	2,000	
	2,000	コロナ禍経済困窮学生支援に寄付
2) 学生支援費 10,790万円	10,790	学生や大学への助成費
後援会賞 211万円	185	後援会賞 211万円 後援会が学生を表彰。対象一難関試験等の合格者、スポーツで顕著な活躍をした学生を対象
	26	外国人留学生表彰 対象一国際交流に貢献した外国人留学生を対象
後援会特別支援費 2,100万円	2,000	後援会特別支援費 2,100万円 LU基金に積立
	100	支部学生支援費 100 地方支部出身学生に特化した支援
寄贈品 1,780万円	1,070	寄贈品 1,780万円 多摩キャンパスマイクロバス購入、学生団体高額機材購入支援
	659	寄贈図書 659 学習用・視聴覚教材・開架図書・電子図書購入補助
	51	寄贈消耗品 51 図書館タブレット端末寄贈
奨学・奨励金 2,000万円	2,000	奨学・奨励金 2,000万円 派遣留学生奨学金経費一部補助
学習・就職支援 112万円	112	学習・就職支援 112万円 教員採用試験二次対策講座補助、自主マスコミ講座合宿費用一部補助
課外活動支援 2,877万円	450	課外活動支援 2,877万円 ピアサポート助成費 450 課外教養プログラム、ボランティアセンターイベント等実施する活動に補助
	924	課外活動助成費 924 各サークルの運営活動の補助、契約宿舎利用補助(ゼミ)の一部補助他
	1,483	体育会助成費 1,483 体育会クラブ活動の助成
	20	グローバル(留学)助成費 20 留学生スピーチコンテストへの補助、総留学生会活動補助
学生行事支援 379万円	105	学生行事支援 379万円 新入生歓迎会 105 学生が主催する3キャンパスの新入生歓迎会に補助
	114	卒業祝賀会 114 各学科ごとに30,000円補助
	127	大学祭 127 法政祭(市ヶ谷)環境対策費補助、多摩祭環境対策費補助、小金井祭環境対策費補助
	33	各種大会補助 33 多摩スポーツフェスティバル補助、小金井スポーツ大会補助
記念品代 1,201万円	1,201	記念品代 1,201万円 学生記念品費 1,201 新入生向け校歌・応援歌配信、大学ホームページ用動画作成補助。学生手帳作成費。就職活動手帳作成補助
祝金 110万円	110	祝金 110万円 祝金 110 大学関係行事・祝賀会祝金
弔慰金 20万円	20	弔慰金 20万円 弔慰金 20 学生の死去に香典2万円
3) 会員情報費 3,005万円	3,005	会員への情報発信のための費用
広報誌「法政」 2,663万円	1,653	広報誌「法政」 2,663万円 広報誌「法政」作成補助 1,653 大学が制作し、年8回発行している広報誌「法政」の作成および会員への郵送代の補助
	1,010	広報誌「法政」郵送費 1,010
大学ガイドブック 262万円	187	大学ガイドブック 262万円 大学ガイドブック作成費 187 新入生父母保証人に送付する「会員のための大学ガイドブック」の作成と郵送代
	75	大学ガイドブック郵送費 75
ホームページ 80万円	80	ホームページ 80万円 ホームページ維持費 80 後援会ホームページ維持、運用費用

(注) 上記の表の金額は万円未満を四捨五入しているため、合計の数値が計算上一致しない場合がある。

(注) 上記の表の金額は万円未満を四捨五入しているため、合計の数値が計算上一致しない場合がある。

法政大学後援会組織図



法政大学後援会の運営諸機関

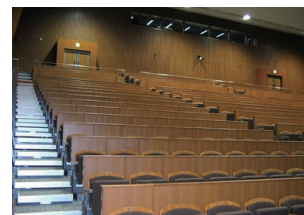
後援会は、次の機関で運営しています。

機関名称	構成員等	機能・役割等
運営会議	会長、副会長4名以内、総務8名以内 会長、副会長は常任幹事より、 総務は幹事または常任幹事より選出	会長は本会の代表 副会長は会長を補佐 会務の企画・実施
監査	2名を相談役・顧問経験者より選出	会務および会計を監査(5月、12月)
常任幹事会	運営委員、常任幹事 常任幹事は幹事より30名以内を選出	会務に参画し、常時会務を掌理し、予算その他重要事項を審議
幹事会	運営委員、常任幹事、幹事、相談役、顧問、 常任参与、参与 幹事は各学年会員より22名以内を選出	決算・予算・事業計画、その他重要事項を審議 暫定予算の審議決定 年2回開催(3月、5月)
支部長会議	運営委員ならびに各支部より支部長と支部役員1名	後援会事業および支部総会・父母懇談会等支部活動に関する事項を審議 年2回開催(6月、11月)
総会	全役員および父母保証人(会員)	決算、予算、その他重要事項を審議決定 定例年1回(6月)
支部総会	支部役員および支部会員	支部の決算、予算、その他重要事項を審議
支部役員会	支部長および支部役員	支部の運営を協議

*相談役、顧問は若干名を幹事会で推薦 *常任参与、参与は、若干名で大学の後援会関連事務部局の所属長、管理職

法政大学後援会寄贈

学生と大学への助成の一環としての機器備品等の寄贈の一例です



ロールバックチェア外濠校舎薩埵ホール
(市ヶ谷キャンパス)



富士見ゲート「オレンジホール」移動観覧席
(市ヶ谷キャンパス)



ロールバックチェア東館2階体育館
(小金井キャンパス)

応援旗



野外用テーブルチェア(多摩キャンパス)



チアリーディング部衣装



小金井キャンパス開設50周年記念時計塔
(小金井キャンパス)



構内循環バス(多摩キャンパス)



トレーニングマシン(多摩キャンパス)



テーブルとイス